

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ キャンディ
-----	------------------------------

取組の名称	学童クラブ どれみキッズ
実施場所	神奈川県川崎市宮前区宮崎 169-6 やまびこハイツ 101、102 号室
対象地域	宮崎台周辺地域
対象地域の特色・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅街で高齢世帯とともに子育て世帯が多い。</li> <li>・核家族が多く、共働きが増えている。転勤等での転入家庭も多く、地域とのつながりが希薄になりがちな特徴があります。</li> </ul>
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の人々と共に学童期の子どもたちの生活を支える仕組み作りを整え、引き続き地域で安心して子育て出来る環境作りを展開していきます。</li> <li>・居場所として「学童保育」を地域に開き、町内会や地域との連携により学習支援、行事等を行います。子どもの孤食を防ぐために、「子ども食堂」を行います。</li> <li>・フードバンクとつながり、一人親家庭への食材配布の仕組みづくりを行います。</li> <li>・「ボランティア養成講座」を開催し、子育て支援に関心ある方たちへの参加につなげます。</li> </ul>
実施内容・実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の居場所機能は、今年度は更に地域交流として町内会子ども会との連携を増やしていき、地域のコミュニティ作りを行なってきました。</li> <li>・こども食堂は月2回開催。春・夏休み等のお昼ごはん版こども食堂を企画し夏に3回、冬に1回開催しました。</li> </ul> <p>さらに、地域の方々に活動を知っていただくための広報活動とサポーター参加について力を入れ、こども食堂や学童送迎にはたくさんのボランティアの方が加わりました。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かながわフードバンクとつながり、子ども食堂への食材、一人親家庭への食材配布の仕組みづくりは、実現する事が出来なかったもので、次年度への課題とします。</li> <li>・「サポーター養成講座」を開催し、子育て支援に関心ある方の参加がありました。</li> <li>・「バザー」を“こどもまつり”と“こども食堂”で開催しました。子育て世代で「衣服、おもちゃ、絵本、育児用品」の資源の循環が進められたと思います。</li> </ul>		
参加者の年代	小学生 1年～5年生	定員 (1回あたり)	学童：43名 居場所：2～40名
実施頻度	週1～週6	活動日数 (年間)	215日
スタッフ体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤職員2名、非常勤1名</li> <li>・ボランティア2名(2020年度からアルバイト)</li> </ul>		
連携する団体・ 連携の手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大塚町内会 子ども会」 町内会役員・子ども会役員との情報共有を、担当者が行っている。子ども食堂のポスターを町内会の掲示板に掲示して頂いています。</li> <li>・「地域住民」に向けて 助け合いの意義を伝え、関心がある方とつながるために「サポーター養成講座」を開催しました。 ホームページや宮前社会福祉協議会、生協組合員むけにチラシ配布しました。</li> </ul>		
取組実施により 見込まれた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に子どもの居場所を作ることで、より多くの方々が子どもたちに関わり、子ども達の成長をサポートする地域づくりを行った。「子育て」の社会化を進めてきた</li> <li>・フードバンクを活用し、ひとり親家庭などに対して、食材を届ける市民同士の助け合いのしくみが出来なかったことは次回への課題である。</li> <li>・「子ども食堂」を毎月2回開催したことで、みんなで一緒にご飯を食べる交流の場、居場所を地域に開き、孤食を防ぎ、子育て世代の交流を図ることができたと思う。また、夏・冬・春休みの昼ご飯の「子ども食堂」を他施設で行ない、地域の大人や</li> </ul>		

	<p>子どもの交流の場となった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・居場所を活用したバザーなどを行い、子育て世代の「物」を循環させて、資源の循環や交流、支え合いを進めた。</li></ul> <p>特に「お下がりの会」では、自分も頂いたという服を持って来て、目の前で、居場所でも知りあった子へ受け継がれて行く様子が見られて温かい雰囲気になった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「ボランティア養成講座」を行った。参加者は少なかったが関心ある市民への働きかけの一步は踏み出せたと感じる。</li></ul>
--	---